



神戸市内に津波避難情報板設置！ __西日本防災システム

2014 08 28

神戸市内在住でない観光客などの人々が津波から安全に避難できるように、神戸市は27日、三宮センター街東側出入り口など3カ所に、避難のための土地勘を持ってもらうための鳥瞰図や南海トラフ巨大地震の津波浸水想定図などを掲載した津波避難情報板を設置しました。

津波避難情報板は高さ2.7m、幅2.3m。鳥瞰図は鳥瞰図絵師の青山大介さんが描いた"みなと神戸パースアイマップ"で、建物や道路状況を立体的に分かりやすく示しています。元町通1丁目交差点、ハーバーランド「神戸ガス燈通り」沿いなど3箇所に設置されました。

兵庫県の想定では、南海トラフ地震の津波は83分後に神戸市沿岸に到達し、旧居留地や南京町、ハーバーランドも弊社ビルも浸水する想定です。死者は9264人(発生が夏の正午と想定)とされ、働いている人々や多くの観光客(外国人を含めた)の避難誘導が大きな課題となりそうです。

鳥瞰図: 上空から斜めに見下ろしたような図や絵画をいいます。飛ぶ鳥の目からみたように見える、というのが鳥瞰の意味です。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 